

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	四街道市児童デイサービスセンターくれよん			公表日	令和8年 3月 19日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	・機能訓練室を使う時間をグループ毎に時間差をつけて、工夫して使っている。 ・少人数なので適切である。	・1グループ10組の利用があると部屋での活動だと狭い。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・子どもの特性に合わせて、1対1で対応できる時間を作るよう職員配置を工夫している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・子どもが集中して活動に取り組めるよう机の配置や職員の座る位置など日々工夫している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	・日々の清掃、消毒を必ず行っている。 ・床暖房設置なので裸足でも活動しやすい。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2	・直接支援の職員以外もカンファレンスに参加し、子どもの特性の理解に努めている。 ・職場の風通しがよく意見が言いやすい環境だ。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・保護者評価表にグループを記入してもらい、グループ単位での保護者ニーズの把握に努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	・適宜疑問点を話し合える環境である。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。				
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・会計年度任用職員を含め、全職員が研修を受講できる体制を整えていると思う。 ・虐待防止や感染症対策の研修がある。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	・ホームページを使用し、いつでも閲覧できるようにしている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	・グループ担当者間での話し合いでの子どもの状況確認や必要に応じて保護者との面談を行っている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	・子どもそれぞれ目標設定があるが、その日のコンディションにも合わせて活動できるような環境を整えている。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1		・勤務体制等の状況により、情報収集が不十分であったり、課題が明確に捉えられていない部分もあり、計画に沿った支援の実践に課題が残る。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	・心理、言語など専門職員とのカンファレンスで確認している。 ・日々の記録をグループ担当者間で話し合って記入確認している。	・標準化されたツールの読み取りに課題があったり、カンファレンスに参加できない職員のフォロー体制。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	・担当者間で話し合い、よりよい支援ができるようにしている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・専門職員からの助言を基に活動を立案している。 ・子どもの興味に合わせて活動に変化をつけている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	・その日その日で利用者が異なるため、前回の成長過程を鑑みて話し合っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	・質問疑問は先輩職員に確認している。	

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	1	・日々の保育記録を担当者間で話し合い記録している。	・記録票を振りかえることが、支援の検証や改善に十分に生かされていないことが課題だ。記録物について、行動支援計画など、そのお子さんやご家族の課題など観察ポイントや問題点がわかりやすくする等評価しやすい記録方法を検討していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	・グループ担当者が相談支援事業所と電話等で会議している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	・保育所や幼稚園を訪問し、環境の異なる場所での子どもの様子を見て、特性理解・療育活動の設定に努めている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		・保育所や幼稚園等、保護者、本事業所での相互理解の難しさを感じる時がある。子どもの最善の利益を考えた支援ができるよう対応していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2	・教育委員会との連携を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	3	・千葉県通園施設連絡協議会に所属し、千葉県のセンター施設や事業所との交流や研修会の中で、他事業所の支援方法を知り、よりよい支援ができるよう努めている。		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		・公園での戸外活動や散歩等で同じ空間に一緒にいる環境は意識的に作っているが、積極的な交流は難しい。また、子ども達自身幼稚園や保育所を併用利用している。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・親子通所の良さを最大限に活かし、細かな声掛け、支援方法を伝えるとともにリアルな子どもの状況を共有し共通理解に努めている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	・親子通所なので、子どもの状況に合わせてその場で対応について伝えている。	・保護者向けの研修情報などの発信ができるよう努めていく。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	・1つ1つ指し示しながら、丁寧な説明をし同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	・必要に応じて、都度面談を行うとともに面談期間を作り、相談支援をしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	・専門職員による研修会や先輩保護者との座談会を開催している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	・毎月の予定表案内メールにて、行事やお知らせなどを発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・書類の取り扱いには鍵付きのロッカーに保管し、ルールに基づき対応している。	
	43	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		・保護者の思いや意見に対し、保護者の方に寄り添った方法で助言ができるよう務めている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5		・事業所の性質上、地域との関わりは難しい。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	・全職員で協力し、訓練を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・現在対象の子どもがいない。 ・親子通所なので、指示書の提出は求めている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	・不審者対策として、利用者が全員通所したら、入口玄関の自動ドアの電源を切る等の対応を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	・職員間で周知すると共に今後の対策を検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	・事例を基に職員間で話し合いを行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0		・職員の研修会を実施している。